

【森山開次インタビュー】

困難な時代の希望を、時を超えて受け継いでいく

— KAATでは前回の『不思議の国のアリス』に続き、『星の王子さま』での登場ですね。

「はい。多くの人々が舞台化してきた、あまりにも有名な作品です。僕も白井晃さん演出のミュージカル等、何回か関わってきました。しかし今回のように演劇やミュージカルではなく、ダンスで挑んだ作品はほとんどないのではないのでしょうか」

— たしかに魅力的な言葉にあふれた作品なので、ダンス化は一筋縄ではいかなそうですね。森山さんはどう挑まれますか。

「原作には有名な『象を丸呑みにしたウワバミ』の話\*があるじゃないですか。舞台でも、作り手の意図が予期せぬ形で観客に受け取られるのはよくあることなんです。でもそこを恐れているのは新しい表現は生まれません。この作品でもダンスが言葉の置き換えだけで終わっては意味がないので、皆さんの予想を超える身体表現に挑んでいきます。観客の皆さんも『これはどう見える?』というスリリングな問いかけを楽しんでもらいたいですね」

— 出演者とスタッフについて聞かせてください。王子役のアオイヤマダさんは、ファッションやアートの分野で注目を集めている方です。

「やはり王子役は作品の要なので『童心を持って踊れる人』を探しました。彼女は意表を突く発想の持ち主で、今までにない王子様像を作ってくれでしょう。周りを実力のあるダンサーが支えていますしね」

— 衣裳と美術は、ひびのこづえ・日比野克彦夫妻ですね。

「ひびのさんは『アリス』をはじめとして何度も御一緒しています。今回は様々な生き物が登場するので見応えがあると思います。日比野さんとは自分の作品で協働するのは初めてなので楽しみです」

— 音楽に阿部海太郎さん、歌に坂本美雨さんが参加しますね。

「阿部さんの持ち味である生演奏を入れつつ別音源の音楽をミックスして、様々な深さの音を響かせたいですね。坂本さんの歌については検討中ですが、歌詞での会話や説明はしないつもりです。あくまでも『身体から発せられるヴォイスの表現』として、砂漠の歌や泉の声など、自然そのもののような存在を考えています」

— 今回の副題は「サン=テグジュペリからの手紙」とありますが。

「原作が書かれたのは第二次世界大戦の真っ最中で、作者自身もパイロットでした。当時の手紙やエピソードも多く残されています。本の中だけで完結するのではなく、今はコロナ禍という大きな厄災のただ中にいる私たちに通じる思いやテーマを作者から受け継いで、観客に手渡していければと思っています」

※作者が子供の頃に描いた絵のこと。大人には外見の形から帽子の絵にしか見てもえなかったエピソードが載っている。



photo by Sadato Ishizuka

森山開次(もりやま・かいじ) 神奈川県出身。ニューヨークタイムズ紙にて「驚異のダンサー」と評され、国内外で活躍。近年は2019年「ドン・ジョヴァンニ」でオペラ初演出、2020年新国立劇場バレエ団「竜宮」で全幕バレエの演出振付を初めて手がけるなど精力的に活動。KAATでは多くの作品に関わり、KAATキッズプログラム「不思議の国のアリス」(演出・振付・出演)は2年連続で上演され大好評を得た。



KAATキッズ・プログラム2018「不思議の国のアリス」(2018) photo by 宮川舞子

主催 9月26日(土) KAme先行  
10月3日(土) 一般発売

KAAT DANCE SERIES 2020

『星の王子さま  
-サン=テグジュペリからの手紙-』

11月11日(水)~15日(日) | ホール |

【STAFF】

原作: アントワーン・ド・サン=テグジュペリ  
振付・演出: 森山開次  
美術: 日比野克彦 衣裳: ひびのこづえ  
音楽: 阿部海太郎

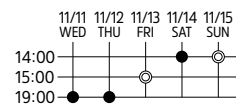
【CAST】

アオイヤマダ 小尻健太 酒井はな 島地保武 坂本美雨  
大宮大奨 宮河愛一郎 水島晃太郎 池田美佳 碓井菜央  
梶田留以 引間文佳

【チケット料金(税込)】

全席指定 S席 ¥5,900 A席 ¥3,900  
U24チケット(24歳以下) ¥2,950 高校生以下割引 ¥1,000  
シルバー割引(満65歳以上) ¥5,400

\*4歳以上入場可



○=託児あり(有料)、公演1週間前までにマザーズ(Tel.0120-788-222)へ要事前予約。



小野寺修二・カンパニーデラシネラ「WITHOUT SIGNAL! (信号がない!)」ワークインプログレス(2017) photo by 西野正将

主催 10月17日(土) KAme先行  
10月24日(土) 一般発売

KAAT DANCE SERIES 2020

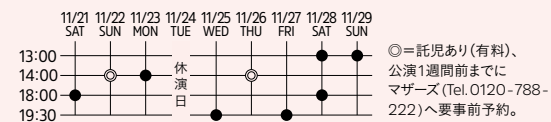
『Knife』

11月21日(土)~11月29日(日) | 大スタジオ |

【STAFF】 演出: 小野寺修二

【CAST】 大庭裕介 梶原暁子 崎山莉奈 零境  
藤田桃子 ミン・ヌヴァン リウ・ジュイチュー 小野寺修二

【チケット料金(税込)】 全席指定 ¥4,800  
U24チケット(24歳以下) ¥2,400 高校生以下割引 ¥1,000  
シルバー割引(満65歳以上) ¥4,300



○=託児あり(有料)、公演1週間前までにマザーズ(Tel.0120-788-222)へ要事前予約。



photo by 鈴木穂蔵

小野寺修二(おのでら・しゅうじ) 演出家。カンパニーデラシネラ主宰。マイムの動きをベースにした独自の演出で注目を集めている。KAATではこれまでカンパニーデラシネラ『ゲーム』『どこまでも世界』などを上演してきた他、KAATこけら落とし公演『金閣寺』に振付で参加して以降、日越国際共同製作作品など数多くのクリエイションを行っている。

【多田淳之介インタビュー】

違いを受け止め、演劇という場で共に考える

『ガモメ カルメギ』(2013年初演)で確かなタッグを見せた多田淳之介とソン・ギウンが、新作を立ち上げます。原作はチェーホフの『三人姉妹』。1930~40年代の朝鮮半島を舞台に、東京に想い焦がれる姉妹の姿を描き出します。「実は『ガモメ カルメギ』の前に『三人姉妹』をやる計画もあった」と語る多田の言葉を裏付けるように、今年2月には大阪大学の授業の一環で、ソン・ギウンの演出にてリーディング公演を実施。早くも公演の足掛かりを得ました。ただ当初の構想時からさまざまな変化も。「韓国はデモにより政権交代が起きるなど社会が大きく変わりましたが、日本はそこまで大きな変革はなく、社会の活発さに温度差が出てきました。よく『日本と韓国は似てる』と言われるますが、違いを感じるが多くなりましたね」と、多田は実感語り。

しかしそういった“違い”を受け止めつつ、「もう一方の国の人が観たらどう思うか?」という目線で、多田とソン・ギウンは一方に偏らない表現を追求してきました。今回もその姿勢を貫きつつ、多田は「目指すところはもっと先にあるというか。“過去に日韓でどうかがり、それを今生きる人がどう捉え、今後どうやって共に生きていくのか”、当事者である日本と韓国の人が、演劇という場で共に考えることは、世界的にも意味があることだと思います」と力強く語っています。



photo by 平岩亨

多田淳之介(ただ・じゅんのすけ) 神奈川県出身。演出家。東京デスロック主宰。古典、現代戯曲、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く手がけ、現代・現在にフォーカスし、言葉・身体・時間・観客との関係も取り込みアクチュアルに作品を立ち上げる。2014年韓国の第50回東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。



東京デスロック+第12言語演劇スタジオ「ガモメ カルメギ」(2018) photo by bozzo

主催 11月14日(土) KAme先行  
11月21日(土) 一般発売

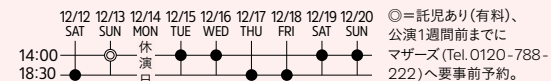
KAAT×東京デスロック『外地の三人姉妹』

12月12日(土)~20日(日) | 大スタジオ |

【STAFF】

原作: アントン・チェーホフ『三人姉妹』 翻案・脚本: ソン・ギウン  
ドラマツルク: イ・ホンイ 翻訳: 石川樹里 演出: 多田淳之介

【チケット料金(税込)】 全席指定 ¥5,000  
U24チケット(24歳以下) ¥2,500 高校生以下割引 ¥1,000  
シルバー割引(満65歳以上) ¥4,500



○=託児あり(有料)、公演1週間前までにマザーズ(Tel.0120-788-222)へ要事前予約。